JCS 評価・記録シート

スコア・刺激条件・反応持続を同条件で残す

患者 ID	評価日	評価時刻	評価者	場所	体位

JCS 判定手順（段階を飛ばさない）

1 観察
刺激なしで覚醒？

→

2 呼名
普段の声量で呼ぶ

→

3 大声
反応が増えるか

→

4 刺激
SOP に沿い短時間

→

5 再評価
同条件で比較

JCS スコア早見（0〜300）

区分	コード	反応の目安	記録のコツ
清明	0	覚醒し会話・指示が通る	平常時との差
1 桁	1	清明とはいえない	会話の連続性
1 桁	2	見当識障害あり	時間・場所・人物
1 桁	3	名前・生年月日が言えない	失語・聴覚も併記
2 桁	10	呼びかけで容易に開眼	声量・回数
2 桁	20	刺激で開眼	刺激条件・戻り
2 桁	30	かろうじて開眼	開眼の持続
3 桁	100	払いのける動作あり	逃避・左右差
3 桁	200	少し動く・顔をしかめる	反応部位
3 桁	300	まったく動かない	呼吸・循環も共有

記録欄（自由記載を広く確保）

JCS	付記（R / I / A）	評価条件（体位・酸素など）	前回との差

自由記載（刺激条件・反応持続・同時所見・共有内容をまとめて記録）

☐ 同体位　☐ 同刺激条件　☐ 時刻を併記　☐ 必要時に共有済み

再評価メモ

前回 JCS / 今回 JCS / 変化の要点を簡潔に